

三田市教育振興基本計画検討委員会（第4回） 会議録

日 時	令和3年7月5日（月） 午後7時から午後8時57分
開 催 場 所	三田市役所南分館6階601会議室
出 席 委 員	佐藤 真、中間 玲子、仲矢 史雄、尾上 尚司、大東 真弓、藪田 昌夫 下中 邦昭、橋本 真由美、松本 衣里香、岸本 高太郎
欠 席 委 員	—
学 校 関 係 者	谷本 正弘、岡崎 正文、吉田 裕彦、廣瀬 みちか
事務局出席者	（教育長）鹿嶽 昌功 （学校教育部長）松下 修 （地域創生部市民協働室長）曾根 義隆 （子ども・未来部子ども未来室長）横溝 裕香子 （子ども・未来部子育て応援室長）西垣戸 泰 （学校教育部次長）外岡 明文 （教育総務課長）浅野 晋司 （学校教育課長）山本 直也 （教育支援課長）山口 貴久 （教育研修所長）小山 恵介 （教育総務課担当課長）上野 樹 （学校教育課主幹）神戸 康正 （教育総務課主任）鈴木 さやか （教育総務課指導主事）松田 成行
議 題	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 （1）前回（第3回）会議録について 【資料1】 （2）前回（第3回）委員意見について 【資料2】 （3）計画素案について 【資料3】 基本施策の展開（基本施策5～10） 4 次回予定 5 閉会
傍 聴 人	2名

会議の概要

事務局(司会)	<p>1 開 会</p> <p>予定の時刻となりましたので、只今より第4回三田市教育振興基本計画検討委員会を開催いたします。皆様におかれましては、大変お忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございます。本日の司会を担当する三田市教育委員会学校教育部の外岡です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は委員の半数以上が出席されていますので、三田市教育振興基本計画検討委員会規則第3条第2項により、会議が成立していることをここでご報告いたします。続いて、第1回委員会において会議の公開についてご承認をいただいたところでございますが、附属機関等の会議の傍聴要項に基づき、希望者に対して傍聴許可することをご承認いただきたいと思います。現在2名の方がいらしております。</p> <p>それでは委員会の開会に当たりまして、佐藤委員長よりご挨拶をいただきます。</p>
委員長	<p>2 委員長あいさつ</p> <p>(挨拶)</p>
事務局(司会)	<p>それでは議事に入る前に本日の会議資料の確認をします。まず、次第、資料1として第3回の会議録、資料2として第3回の委員意見について、資料3として第3期計画の計画素案をお手元に配布しております。</p> <p>以上を資料としておりますのでご確認をお願いします。</p> <p>それでは進行を佐藤委員長にお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>3 議事</p> <p>(1) 前回(第3回) 会議録について【資料1】</p> <p>それではレジュメに従い、進めていきたいと思っております。前回は基本施策の1から4について議論いただきました。事前に事務局から第3回の議事録をいただいております。すでに皆様にはご確認いただいていると思っておりますが、内容はこれでよろしいでしょうか。(異議なし)</p>
委員長	<p>(2) 前回(第2回) 委員意見について【資料2】</p> <p>それでは第3回の委員意見に移りたいと思っております。前回の委員会でいただきました内容について事務局にて検討した結果を、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
委員長	<p>それでは、只今の資料2について各委員の皆さんからご意見ご質問ございませんか。</p>

<p>学校関係者</p>	<p>資料2の①コロナの記載について、検討結果を拝見しまして、コロナのこと、そして、大規模災害からの教訓を非常に分厚く、よく記載していただいたと思っています。</p> <p>その中で、1ページ、第1章の最初に付け加えていただいている部分について、内容としてはこれでよいかと思いますが、1文が6行と長すぎるように感じました。例えばこの1文を「この間において、少子高齢化やグローバル化、絶え間ない技術革新等と社会情勢が急速に変化する予測困難な時代となってきています。また、新型コロナウイルス感染症が（中略）不透明な状況となりました。そのような中…」と、以下続けていってはどうでしょうか。そして、次の段落「このような中…」と続きますので、ここは後ほど出てくる、「国は…」の国を前にして、「国は教育基本法の理念を踏まえた『教育立国』の実現に向け、平成30年…」と続ければ、文章がすっきりすると思いました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。そのようにします。</p>
<p>委員長</p>	<p>他、ございませんか。なければ（3）の計画素案に移りたいと思います。</p>
	<p>（3）計画素案について ①第3期計画の骨子案【資料3】</p>
<p>委員長</p>	<p>基本施策の5から10と目標となる指標について議論を行っていただきたいと思います。事務局の説明の後、基本施策5から順に審議したいと思います。それでは基本施策5から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（基本施策5について説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは基本施策5について、ご質問ご意見ございませんか。誤植かと思うのですが、20ページは「社会的・職業的」となっていますが、19ページの2行目は「社会的、職業的」となっています。20ページに合わせたほうがよいかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>校務システム、学校の先生が小・中学校で、学籍の管理、成績の管理、出席に関する情報システムについては、三田市はどのような運営をしているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、ご質問いただいた学籍の管理等の、校務を円滑に進めるための校務支援のシステムについては、数年前から三田市でも導入しております。</p> <p>今年度から中学校において学習指導要領が完全に実施されましたので、そういった評価の観点等につきましても、改修を終えたところです。</p> <p>その一方で、GIGAスクール構想におけるタブレット端末の活用、こちらも合わせて同時に進めているところです。</p>

委員	わかりました。それが個別最適化の学習に結びついていけばよいと思います。
委員長	確認したいのですが、オンライン授業という言葉はありますが、プログラミング授業という言葉はないのではないのでしょうか。プログラミング教育ではないですか。確認をお願いします。
学校関係者	<p>施策の方向の中でアイデンティティという言葉に記載していますが、この言葉に記載していることは、よいと思います。この言葉が出てこないとなぜグローバル化とふるさと学習が繋がるのかということがわかりづらくなります。</p> <p>G I G Aスクール構想の推進が、グローバルのところに入っていることに違和感があります。</p>
委員長	G I G Aスクール構想の推進については、悩んでおまして、全体にかかることではないかと思っています。検討したいと思います。
委員	大阪市ではルーツが多様になっていて、教科書がなかなか読みにくいということもあります。これからグローバル化に対応した教育、多様なルーツについて、教科書も、デジタル教科書もできています。その一言が必要になってくるのではないのでしょうか。
委員長	三田市の実態を考慮して必要があればということになります。最初の段階で日本語の指導が必要な児童・生徒は、あまり多くないという話をしたと思います。確認をしていただければと思います。
事務局	日本語の指導が必要な児童・生徒については、三田市の場合、現在たくさん在籍をしているわけではありません。しかし、生活様式に馴染むという部分で必要な分につきましては、県の教育委員会、あるいは市の教育委員会から語学指導員という形でサポートしていますが、やはり委員がご指摘したように、I C T等も活用して、言語調整ができるような環境も今後、必要になってくると感じました。
委員長	基本施策6に移りたいと思います。
事務局	(基本施策6について説明)
学校関係者	<p>23 ページの2行目、読み書きなど認知能力の土台になるというところが、読んでいて少し気になりました。認知能力＝読み書きだけではなく、知識や思考等いろいろな学力に繋がる能力が含まれているのではないのでしょうか。あえて、読み書きなどと書く必要があるのでしょうか。</p> <p>2点目、24 ページ4行目、幼稚園における教育は、遊びをとおして総合的な教</p>

	<p>育を行っています。運動遊びだけをとりだすのではなく、遊びの中に運動も含めるという考え方の方がよいのではないのでしょうか。記載部分は、様々な遊びや生活経験を通して、としてはいかがでしょうか。</p> <p>3点目、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続というところで、アプローチカリキュラムの策定や小学校教諭との連携とありますが、この記載だと、新しいアプローチカリキュラムを作成すると読み取れます。しかし、策定したものがすでにありますので、策定したものを通して、連携を深めるというのがよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>読み書きなどのところですが、例示としてわかりやすいのではと思い、記載していましたが、かえってわかりづらくなるということであれば、表現を改めるか削除したいと思います。</p> <p>2点目の様々な生活経験や運動遊びのところですが、ご指摘の通り修正したいと思います。同様に主な取組のところですが、すでにアプローチカリキュラムがありますので、活用という表現に改めるよう検討します。</p>
委員	<p>これは主に市立幼稚園について記載されていると思います。子ども審議会において、市立幼稚園の認定こども園化について語られていますが、その記載が一切見られません。</p> <p>子育て世代の保育ニーズ、ニュータウン以外の農村部の子育てニーズについて、今は預かり保育が16時30分までとなっていますが、それでニーズに応えることができるのでしょうか。また、令和8年度で10園すべて認定こども園化しないまま10園そのまま存続という前提でよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>認定こども園については、お手元の資料39ページ以降、学びを支える環境の整備のところ、市立幼稚園の再編とあわせて提示をしていますので改めてご審議いただければと思います。</p> <p>また、預かり保育は、幼稚園に行っている方が対象になります。現在は週3日ですが、あまり稼働率は高くありません。要因としては16時半まで利用していただけますが、平日毎日ではないということがあげられると思います。それについては週5日で稼働することでもう少しご利用いただけるのではないかと考えています。</p> <p>令和8年度、再編が仮に進んでいない状況の中でも週5日を進めるのかという点について、現状からいくと週5日にすると人材も必要になりますし、認定こども園化することになり、開所時間も長くなります。そういったことを踏まえると、前提としては、再編と合わせて週5日の預かり保育の拡充になると思います。</p>
委員	<p>25ページに「芝生園庭を開放し」とありますが、地域で開放ということですか。</p>
事務局	<p>今年実施していることと、1歳から3歳までのお子様を連れて幼稚園に来て</p>

	<p>いただき、親子で触れ合うという子育て支援イベントで参加いただくことがあります。</p>
委員	<p>園庭のない保育園がたくさんあり、公園の取り合い状態になっています。私立の保育園のお散歩に芝生の園庭が使えるようにしてあげることが不平等の解消に繋がるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>実際に実施するとなるといろいろな課題もあると思います。地域の子育て支援という位置づけもあるかと思います。財産管理等も考えていかななくてはなりません、ご意見として参考にします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では、基本施策7についてご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(基本施策7について説明)</p>
委員	<p>28 ページの指導力の向上のところの方向性ですが、「市民から信頼され市民の期待に応える教育を」のところに、あえて市民という言葉を入れる必要はあるのでしょうか。市民だけに信頼されるべきではないし、市民の期待にだけ応える必要もないと思います。</p>
事務局	<p>市民というのは広い意味で、子どもたちの信頼を得るのは当然なのですが、それ以外にも保護者、地域の方に広く信頼を得るものとして記載しています。いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>公文書において、国であれば、国民に信頼される、県であれば県民と書くようなものだと思います。市でやっているものなので、市民と書いたのだろうと推測します。ご検討いただければと思います。</p>
委員長	<p>45 ページの各種研修参加者のアンケートというのは、実施していないと記載しておりますが、実施していない理由はあるのですか。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、昨年度コロナ禍において実際に予定した研修がほぼできていないという状況があります。アンケートについては、そういった年間の教育委員会が実施します研修で行うものですので、昨年実施できなかった分、昨年度はアンケート調査ができなかったということになります。</p>
委員長	<p>それ以前はやっていたということですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>

委員長	<p>令和2年度だけやっていないということで、実施なしということですね。</p> <p>もう1点、参加者の満足度ですが、満足度だけ見ると危険ということがあります。満足度が重要なのか、実際に能力が上がったという実態的なものが重要なのか。授業が何をめざしているのか、シラバスに書いてありますが、学生が、満足したということが、実力を付けて満足した場合はよいのですが、楽しかったとかその程度の満足であるといけません。取り組んだ結果、どうだったかが大事です。</p>
事務局	<p>今、おっしゃったような、満足した、しなかったという主観的なアンケートになっていますが、ご指摘いただいたように、目標設定に対する達成度を具体的に反映できるようなアンケートにしたいと思います。</p>
委員	<p>研修の項目やテーマについてのアンケートはどのような調査をされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>研修の内容につきましては、当然教育の今の全体的な課題を中心に検討していくのですが、今ご指摘いただいているような、現場の先生方のニーズに沿った形での研修が大事かと思います。教育研修所では、研修運営会議というものを年間で設けております。研修についての意見を現場の先生から聴取しながら、ニーズに沿った研修になるように努力しています。</p>
委員長	<p>基本施策8について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(基本施策8について説明)</p>
学校関係者	<p>平成25年か26年に行った、全国学力学習状況調査の中で、「地域の人に怒られたことがありますか」という項目があります。</p> <p>都道府県平均30%くらいが怒られたことがあるということでした。三田市の場合は15%で半分でした。</p> <p>三田市は、地域ぐるみで子どもを育てるということを考えていかなければいけません。よいことばかり言うのではなく、叱る時には叱ってもらわなければならないと思います。</p> <p>そのようなことを考えた時に、私はコミュニティ・スクールという形で、学校と地域に関わっているので、子どもを育てていく仕組みを充実発展させていただきたいと感じています。</p> <p>現状と課題のところ「・」で3つ書いてあります。この2つ目の後半に「学校を核とした連携・協働体制を構築する」と書いてあり、コミュニティ・スクールは別物みたいに書いてあります。</p> <p>「そのためには」という形でつなげてもらい、コミュニティ・スクールを充実させていく必要があるというように、別物ではない表現でよいと思います。</p> <p>次の34ページもそうなのですが、施策の方向の「保護者や地域住民の教育活動</p>

	<p>への参画の促進を図ります」、次に「また」とあり、コミュニティ・スクールが別物のように書いてあります。</p> <p>「そして、「地域と共にある学校づくり」を共通認識し、コミュニティ・スクール制度を一層充実させていきます」というような形で文をつなげ、やはりそのようなところに繋いでいくことが、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりの中では大事なことだと思います。</p>
事務局	<p>分けて書いたというところで、まったく別の項立てというつもりはなかったのですが、確かにご指摘のようにそのような受け止め方もできるのではないかとお聞きしました。一体的・総合的に進めていくものだと考えておりますので、その点も踏まえながら検討させていただきます。</p>
委員	<p>同じくコミュニティ・スクールのところですが、私は、何年も関わっており、先日あった放課後子ども教室のメンバーの会議の中では、三田型コミュニティ・スクールと呼ばれていて、私は、なぜ三田型と付けるのかと、ずっとここにこだわっています。文科省の言っているコミュニティ・スクールと違うと思います。</p> <p>今やっている三田のコミュニティ・スクールについて、文科省は、認めてくれないと思うのですが、その辺の具体的な説明をしてください。</p> <p>三田型は、融和的ですがよくよいと思いますが、もう一步踏み込んだものがないので、地域がもっと学校に関わっていきこうという点について、穏やかに柔らかくやっていきこうという感じになり、ずっと何年もやっていますが、なかなか進んでいきません。</p> <p>年に2回か3回、集まって評価してもらいたいな、そのような形のコミュニティ・スクールがやはり今でも多いです。</p> <p>私の関わっている小学校は、地域も先生方も、一步踏み込んだ話し合いをすごくし、学校も地域もよい方向に変わっていきました。</p> <p>せっかくコミュニティ・スクールを進めていくのであれば、中途半端なことをせずに、もっとしっかりとやってほしいです。もう少しシビアにやってもよいのではないかと思います。反対の方も多いと思いますが、三田におけるコミュニティ・スクールの仕組み、定義をもう少ししっかりと、わかるように教えてほしいと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のように、三田型コミュニティ・スクールでは、職員の採用、任用や運用に関する事項に対しての意見という点については、盛り込んでおりません。</p> <p>現在、市内の29の小学校、中学校、特別支援学校において、今年度初めて29校で、コミュニティ・スクールを実施することができました。</p> <p>コミュニティ・スクールの第1の目的は、学校や地域の実態に応じて、どんな子どもを育てていきたいのかというようなめざす子ども像、子どもを育む仕組みづくりを三者で考えて、取り組んでいくというところだと思います。それを大事にしたいと思っているところで、三田型のコミュニティ・スクールという形で進めています。</p> <p>文科省が地方教育行政法に則ったコミュニティ・スクールということをお</p>

	<p>りますが、そこについても全国的に市町独自の形でやっているコミュニティ・スクールのほうが今現在も圧倒的に多いです。</p> <p>今年度、国でもコミュニティ・スクールのあり方の検討会などが進んでおります。そこでも、各市町の独自のやり方というものを、今後より推進、発展していくというような中間まとめも、出ております。</p> <p>片や、兵庫県のほうは兵庫県独自のコミュニティ・スクールのあり方というものを今年度からやっているような状態があります。その兵庫県のやり方というのも、ほぼ本市が取り組んでいる教職員の人事や予算についての言及については、今年度、試しにやっておられる県立学校のコミュニティ・スクールについても控えておられる状態です。任用や予算についての意見というところについても、いろいろなご意見があるかと思うのですが、まずは第一に、どのような子どもを育てていくのかということ、学校・家庭・地域で考えていく、そんな取組を29校でより一層進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>関わっている中学校では、形式的な会しかしていません。始まったところで、2年、3年目ということはあるのですが、その辺をどのように進めていくのかということについて、教育委員会の指導を、きっちりしてもらいたいです。</p> <p>地域はなかなか言えないので、本当にコミュニティ・スクールを中心に、地域と連携を進めていくのであれば、一步踏み込んだことをやっていかないと、形骸的に年に何回か集まっていただけお話をするみたいなことでは、やはり学校もよくなっていかないと。本腰を入れてほしいと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り29校があり、それぞれのやり方で正直、温度差があるようなこともございます。</p> <p>教育委員会としましても、コミュニティ・スクールの会議に、担当の指導主事等が訪問するようなこと、令和2年度、コロナ禍で非常に難しい中でも、8校11回の訪問をさせていただいており、一緒に考えております。</p> <p>今年度につきましても、昨年度以上に直接的に助言をさせていただきながら、より一層コミュニティ・スクールの内容が充実するように進めたいと思います。</p> <p>大切な仕組みだと考えておりますので、頑張ってください。</p>
委員長	<p>私の知るところでは、国が言っているところと一番違うのは、県が言っていることだと思います。教科担任制も兵庫県独自の新学習システムの中でやっています。コミュニティ・スクールも兵庫県独自のやり方でやっています。</p> <p>三田市だけでなく、他の市町においてもコミュニティ・スクールというのは、国が言っているように独自にすぐに本部を設けるといえるようには進んでいないようです。三田市もご意見をいただきましたので、国のほうの動きを見ながら、今の国の検討会を見ながら、委員のご意見についてご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>(基本施策9について説明)</p>

委員	<p>38 ページの地域伝統文化の継承の推進のところで、「子どもたちに地域の伝統芸能などへの理解を進め、「知り・守り・育てる」機会を創出する」と書いてあるのですが、どうやって創出するのですか。その方法を教えてください。</p>
事務局	<p>いろいろなやり方はあると思いますが、例えば三田音頭といったところが1つございます。地域のお祭りがありますので、音頭会が入ることで継承し、知っていただいて、育てていきたいと思います。これは一例ではありますが、そういったことをしていきたいと考えております。</p>
委員	<p>地域の神社に神楽などがあります。そのようなことを広報していくとか、お祭りの日を広報していく方が、実際的に効果があるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のありましたように、地域に神楽があるというのは承知しているところでございます。こういった地域で祭りがある、市のお祭りがあるというところは、広報誌等通じて広報していくのも効果があると考えております。</p>
委員長	<p>46 ページで、「文化芸術に触れることで自尊感情が高まる」というデータがあるのですが、この自尊感情はどこから、どのようにして出てきたのでしょうか。単に文化は、享受すればいいかと思います。</p>
事務局	<p>わかりにくいので、表現を検討します。</p>
委員長	<p>では、最後 10 番について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(基本施策 10 について説明)</p>
学校関係者	<p>39 ページの現状と課題で、最初に「「学校園施設等の整備・充実、安全体制の確保」は”できている”割合が低く」と始まっているのですが、施設面での整備という印象が強いです。次の(2)安全安心な環境の整備のほうの現状と課題に書いたほうがよいと思います。</p> <p>学校・幼稚園の再編・統合ということになると、23 ページに幼稚園のところがあります。23 ページの現状と課題の真ん中に、「園児数の減少により集団生活を通じて得られる学びを保障することが困難になりつつある園もあります」と書かれています。このようなことが現状と課題になるので、ハードの問題ではなく、教育上ソフトの課題というものに触れていただきたいと思います。</p> <p>また、ここにICTが入っているのも気になります。ICTは、次の安全安心な環境の整備のほうがよいと思います。ここでは再編・統合に特化した内容の方向性を示していただけたらと思います。</p>

事務局	<p>おっしゃる通りだと思います。掲載の場所について、検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>一般的に小学校については、1万人の人口に当たり1校の設置だと思います。やはり子どもたちの人数について、子どもたちのこと、教育のことを考えた配置が前提だと思います。20校を想定すると、人口は20万人。現在の三田市の人口は、11万人にとどまっています。</p> <p>施設の整備を増やしても、3年になったら統合し、きれいになった途端になくなったということになり兼ねません。ものごとを順番に整備していただきながら、最後に適切な施設整備に移っていくのが順序ではないかと思います。</p> <p>46 ページの5ヶ年の目標のところには、エレベーターやカメラのことはまったく触れられていません。5年経ったと思われませんが、進んでいないと見てとれます。全体的な中での整合性、先ほどの認定こども園のことが触れられていないことも含め、担当課を超えた、総合的なすり合わせが重要だと思います。</p>
事務局	<p>順番的なことですが、十分意識して取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>大規模改修については、状況調査をしながら、そういった状況も踏まえまして、再編とも十分考慮しながら取組を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、指数のほうで、カメラという話がありました。カメラについて、現在通学路については208台つけております。毎年点検等しながら、今すぐ目標の数を数値的に表すということが困難ですので、必要に応じて、取り付けが必要であれば取り付けていくということを考えております。</p> <p>主なものとして、洋式トイレについて、新たな指標として入れております。もう少し指標となるものが多いとよいというご意見だったと思いますので、その辺も検討したいと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>39 ページの統廃合の現状と課題というところで、統廃合に直面している保護者ならば、ここを最初に読むと思います。そのときに、あまりにも曖昧です。トイレのことなどではなく、少人数クラスがどんどん増えているといったリアルなことを、もう少しここで書けないでしょうか。ここを丁寧に記載して、どうして統廃合をしようとしているかといったところの思いを、ここに書いていかないといけないと思います。ICTやトイレの数とか、そのようなことを聞きたいのではないと思います。</p>
事務局	<p>特に39 ページ(1)につきましては、再編・統合ということで記載しております。先ほども言われたように、小規模化の状況というのはしっかりとお伝えしていかなければならないと思います。そのうえで、小規模化が進むことで教育活動上いろいろな課題も出てきております。そういった認識のもとで、この計画の中で表現できるように、まず現状と課題のところでは触れていきたいと考えます。</p> <p>ただ、指標のところでは、例えば先ほど言われたように、20校を12校にと言うよ</p>

	<p>うな具体的な数値は、小規模化の課題として認識はしていますが、具体的には再編の小学校から含めた計画というのは現在も検討している段階でございます。これができ上がった時点でも、なかなかこれも行政の一方的な思いだけで実現できるものでもないということも踏まえて考えると、指標を挙げるのは非常に難しい部分もあります。そこについてはご容赦いただきたいと考えています。ただ、このまま小規模化が進み、そのままにしておくということは一切考えておりません。今後、将来に向けてさらに小規模化も進んでまいりますので、そこも踏まえながら子どもたちの学ぶ環境というものをしっかりと、再編ということも含めて取り組んでまいりたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>前に資料をいただいたときからいろいろ変わってきていると思います。これは再編・統合をめざしてやっているのかと言うと、私はそうではないと思います。本当に重要なことは、学校・幼稚園の適正規模の維持管理だと思います。そのための1つの手段として、再編したり統合したり改善したりということがあります。あまりに多く70人というのもよくないですし、あまりにも少なくても10数人というのも大変なことです。適正規模の維持管理ということのために、再編や統合をやっているので、手段と目的を間違えないでいただければと思います。よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>以前、30年を超える建物の教育施設長を10年くらいしており、毎日改修工事ばかりでした。三田市内の小中学校もちょうど、30年を超える辺りの学校が多いかと思ひます。インフラの改修工事にかかる費用、それと適正規模の維持管理の時期について、非常に微妙なバランスの中で成り立っていると思ひれます。先生方も本当にいろいろ努力をされていて、みんなで心あわせて進めていってほしいと思ひます。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしくお願ひします。そろそろ時間的になりますので、一旦ここで5番から10番まで、全体を通して不都合がないかも含めてご意見はありませんか。</p>
<p>学校関係者</p>	<p>私は校長として信頼される学校というのを常に考えています。基本施策7番の記載や指標はとても重要なことだと思ひます。「信頼される」には学校を知ってもらふ、学校を見てもらうことが大切です。今はなかなか見てもらうことはできませんが、ならば知ってもらおうということで、特に毎月気にしているのはホームページのアクセス数です。私はいつもそこを見ているのですが、今回の指標には残念ながらもなっています。前はあったように思ひます。</p> <p>もう1つは、学校支援ボランティアの活用について、保護者や地域の方、あるいは生徒が実感しているかどうかということをお話で常に気にしています。</p> <p>先ほどコミュニティ・スクールのお話にもありましたが、学校地域運営協議会をするときに、本校の課題でもある学校支援ボランティアを導入して活用できないか、意見を言ってもらふだけではなく、動いてもらおうということでコーディネー</p>

	<p>トしていただいたり、地域の人を紹介していただいたりしています。そのような指標がここに記載されればうれしく思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。指標については、これまでの基本計画の中で指標を挙げて有効だったというものを再度取り上げるということもあってもよいと思いますので、再度ご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>コミュニティ・スクールの認識ですが、私は1年間PTA活動をやっていて、ここにいらっしゃる方は、コミュニティ・スクールとは何かと聞かれて説明できるばかりだと思います。私はコミュニティ・スクールと言われて、アフタースクールのことかなと思っているくらい知りませんでした。</p> <p>ことあることに口酸っぱく伝えたり、PTA便りでコミュニティ・スクールとはこのようなものですよと言っているのですが、やはり浸透は難しいですし、自分から動く保護者も少ないです。熱量がある人はたくさんいますが、それに続く人が少ないという現状はあります。そこを何とかしようと頑張りましたが、1年間では難しかったです。次の人も頑張ってくれてはいるようですが、現実的にはコミュニティ・スクールでやっていこうと書いてありますが、正直、そんなに簡単なことではありません。私の感覚で言ったら、私のいた小学校ではこのままでは消えてなくなってしまうのではないかと個人的に不安になりました。</p> <p>学びを支える環境の整備があり、幼稚園は統廃合があったり、認定こども園になったりしていると思うのですが、認定こども園になり、制服を変えたりするところがありました。うちも入ってすぐに制服が変わりました。任意ですとは言いますが、買い替えていないのは3人くらいでした。子どもは別に何も言いませんが、これはかわいそうだと思って買い替えました。買い替えたらとても喜んでいたので、親には言わないけれどみんなと同じがいいのだなと思いました。そういったことも、統廃合があったときに検討していただければ、保護者の負担も減ると思います。</p> <p>また、41 ページにアンケートがありますが、保護者に言っているのだろうと思いますが、同じ質問を子どもに聞いたら難しいとは思いますが、似たようなことを子どもに聞いて、子どもがどんなことを思っているのかを捉えたら、大人と子どものずれもわかるのではないかと思います。</p> <p>また、環境の整備について、うちの子は逆上がりができませんが、逆上がりの練習に使う逆上がりの台があります。その台が歯抜け状態で、これでどうやって練習するのかと聞きましたら、子どもたちは無理だと言います。先生はいないのかと言うと、いるけれどこれでやれと言われたそうです。すぐに先生にこれで怪我をしたらどうするのか、直してくださいと言って直してもらいました。学校の先生も忙しいと思うので、見きれていないと思います。</p> <p>学校の先生に整備はどうですかと聞くのではなく、子どもに直接どんなことが変わったらできるようになるか、ここが変わったらもっと過ごしやすくなるといったことを子どもに聞いてあげたほうがよいと思います。そうすると逆上がりができるようになる子どもが1人でも増えるかもしれません。</p>

委員長	<p>今のご意見を踏まえまして、41 ページのタイトルを「安全安心で充実した環境の整備」にすると、ICTもここに入れられますし、今の逆上がりのご意見についても反映できると思うので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
委員長	<p>そろそろ時間になります。担当課を横に見たほうがよいかと思ひています。資質・能力というのが、23 ページと 28 ページで「・」があったり、なかったりします。</p> <p>社会に開かれた教育課程にカギカッコがついていたり、ついていなかったり、様々なところがあるので、横に並べて確認していただければと思ひます。</p> <p>それでは、時間がきましたので、最後にまとめということではありませんがひと言だけ言って終わりたいと思ひます。</p> <p>新聞報道等で皆さんご承知のように、授業時間に弾力を持たせるということが言われ始めました。さらには小学校、中学校も教科担任制を導入するということが検討されています。</p> <p>先ほどの手段と目的ではありませんが、なぜ弾力的なことをやるかと言うと、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成と、探究的な学習の充実ということです。</p> <p>実験のためにはやりますが、社会にとってこれは国語でやっている、これは数学でやっている、これは物理でやっているといちいち考えながらやっているわけではなく、それを総合的に使っているわけなので、今、大学などでは探究が1つのキーワードになっています。</p> <p>高校の科目の総合や探究とついた科目は全部変更になってきています。大学にも探究は大事だと言われていています。</p> <p>探究するために何が必要かというところにこう書いてあります。学習の基盤となる資質・能力は、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力であって、情報活用能力だけが先行していますが、それは手段なので、教科横断をして使えるような探究というものをやっていけないといけないと思ひます。</p> <p>学問というのは、問いを学ぶと書いて学問なので、問いのないところには後は勉強で無理やりやるしかないなので、無理やりはみんな嫌なので無理やりはやらないように誘い込むというやり方をやっていただければと思ひます。</p> <p>学力の向上になるのはやはり読書だと思ひます。三田の子どもたちはよく本を読んでいると思ひています。図書館の整備も充実しなければならないと思ひています。先ほどの移動図書館など、海外ではデバイスからいかに離すかということを書いていて、使うのはもちろん重要ですがそれに 24 時間縛られてしまいますので、いかに子どもたちをそれから離すかということも重要だと思ひます。バランスだと思ひます。</p> <p>ICTは使えなければいけないのは確かですが、それに縛られないで言語能力、問題解決能力をつけるように、バランスを取ってやっていただければありがたいと思ひます。それでは、時間ですので議事を終わります。事務局に進行をお返しします。</p>

事務局	<p>(4) 次回日程 次回の日程ですが、8月19日月曜日、19時から、こちらの601会議室のほうで行いたいと思います。</p>
事務局	<p>(5) 閉会 閉会に当たりまして、教育長よりご挨拶をお願いします。</p>
教育長	<p>教育長あいさつ</p>
事務局	<p>それでは皆さん、長い時間ありがとうございました。</p>